



日乗連ニュース

ALPA Japan NEWS

www.alpajapan.org

Date 2009.3.26

No. 32 - 44

発行: 日本乗員組合連絡会議・ALPA Japan

幹事会

〒144-0043

東京都大田区羽田5-11-4

フェニックスビル

TEL.03-5705-2770

FAX.03-5705-3274

E-mail:office30@alpajapan.org

佐賀便機長労災裁判 (SIM 検証報告と次回公判予定)

## 『当日の名古屋空港の飛行を再現、 裁判官が SIM にて体験』

次回公判予定 4月16日 15:10 ~

東京高裁 809号法廷

多数の傍聴をお願いします。

### 【シミュレーター検証実施】

全日空のエアバス機長が 2009 年 9 月 11 日、飛行中小脳出血で倒れ、無くなった労災事件で審理を続けている東京高裁の裁判長含む裁判官 2 名が、全日空訓練センターでエアバスのシミュレーターに搭乗しました。これは原告団が裁判官に対して、飛行当日の気象条件を再現したシミュレーターに是非搭乗し検証するように申し入れていたものが実現したものです。

2 月 26 日にシミュレーターによる検証が行われましたが、事前に内容を点検する為 18 日に同データを使い内容の実証を行いました。佐賀便事件発生当日は台風の接近もあり、DFDR のデータ通り最終進入で風は常にファイナルコースを挟んで変化し、GCA によるアプローチの困難さも分かりました。併せてショートファイナルで大きく風が向かい風から追い風になり、機体が大きく沈み着陸の困難さも分かりました。

### 【新たな証人採用?!】

原告側からシミュレーター検証と乗員の証人 2 名を裁判所に申請をしていました。実質的にシミュレーター検証を終えたことで、公判も結審を迎えるものと予想されました。しかし、裁判長から更に証人調べが必要かどうかを決めるため公判実施が示されました。来月 4 月 16 日に証人尋問の採否を決定する公判が 15:10 ~ 東京高裁 809 号法廷にて行われます。

地裁の不当判決から高裁による審理が続いていますが、裁判長は医師の証人尋問をはじめとし、シミュレーター検証を実施するなど、丁寧な裁判進行であると感じられます。さらに新たな証人尋問についても検討する姿勢を見せています。勿論裁判ですから予断は許せませんが、是非裁判所に新たな証人尋問を認めさせ、労災認定を獲得する必要があります。是非多数の裁判傍聴をお願い致します。

以上

